

学校経営方針

【教育目標】

未来を切り開くたくましい生徒の育成

【校訓】

「美しく・たくましく・つつましく」

【めざす生徒像】

友愛

健康

創造

豊かな心

広い心で大切な仲間を支える生徒

たくましい身体

進んで身体を鍛え、根気強く努力する生徒

限りなき創造

体験的に学び、新たな問いを見つける生徒

1 めざす生徒像を実現するために

教育目標「未来を切り開くたくましい生徒の育成」を実現するために、次の3つを大切にしながら、教職員が一丸となって取り組みます。

教育活動を展開するに当たって大切にしたいこと

【友愛】 「仲間（人）」や「物」「事象」とのかかわりを通して、思いやる心や敬う心をはぐくむ。（道徳教育の充実）

【健康】 学習や運動への自主的な取組を通して、知性を高め感性をはぐくみ、心身を鍛える。（基本的生活習慣の確立）

【創造】 体験的な学びの中で、生徒の「気づき」や「発見」を大切にし、新たな疑問をもたせる。（授業改善並びに体験学習の充実）

2 大切にしたい「校訓」

歴史と伝統のある八軒中学校は、地域と学校のつながりをこれまで以上に深め、善悪の判断や審美性（美・醜を識別すること）を高めていくことが大切です。家庭での親子の触れあいや会話、地域の行事、学校での生活をとおして、生徒がしっかりと「対話」ができ、「美しい振る舞い」や「美しい言葉」等を身に付け、これまで以上に人間として

人間らしく生きるための基本的な生活習慣を確立していくことが大切です。

このような観点から、校訓である「美しさ」「たくましさ」を特に大切に、学校の教育活動全体の中で、善悪の判断や審美性を身に付けさせていきたいと考えます。

また、「友愛」を育てるために、「人」とのかかわりを大切に、思いやる心や敬う心をはぐくんでいきたいと考えます。かかわりを大切にすることによって、望ましい勤労観や就労観をはぐくむことができると考えます。

3 重点化

1, 2を踏まえ、今年度は次の三つを重点化する。

「美 し さ」

「たくましさ」

「友愛（豊かな心）」

4 めざす教師像

(1) 人間の専門家としての教師

生徒・保護者、地域の実態を踏まえた教育活動を展開するために、生徒・保護者、地域の方々とのかかわりあいを大切に、多様な価値観や考え方を吸収し、人間の専門家としての力量を高めます。（人間性で勝負）

(2) デザイナーとしての教師

授業や行事等で、興味・関心を高めるための学習材を準備するとともに、指導方法を工夫し、生徒が自主的に取り組めるようにし、知性を高め、感性をはぐくみます。（創意・工夫で勝負）

(3) 一緒に活動する存在としての教師

多くの体験的な学習で、教師は生徒とともに活動し、常に生徒の考え方や些細な気付きや疑問を生かせるようにします。（同じ土俵で勝負）

5 めざす学校像

(1) あいさつと笑顔がさわやかな学校

あいさつと笑顔に満ちあふれ、一人一人が大切にされる教育活動に努めます。

(2) 分かる授業が展開される学校

学ぶことの楽しさを味わえるような指導計画の改善に努めるとともに、各教科のよさを実感できるような授業をめざします。

(3) 生徒の「気付き」や「発見」が大切にされる学校

授業や行事等で、生徒の「気付き」や「発見」「疑問」を生かした教育活動をめざします。また、きれいな言葉環境づくりに努めます。特に思いやりの言葉、正しい言葉づかい大切にします。

(4) 地域に開かれた学校

「学校だより」「学年だより」「学級だより」等を通して、生徒の様子や学校の取組をお知らせすると同時に、地域の方々や保護者との連携を深めます。

(5) 職員室が明るい学校

教職員の協働を大切に、有機的に働く組織づくりの推進に努めます。

6 めざす生徒像から迫る教育目標具現化のための重点施策

友 愛	健 康	創 造
①「明るいあいさつ」と「さわやかな礼儀」の励行 ②生徒とのかかわりを深める「ノー会議デー」や教育相談の有効活用 ③「いじめのない」信頼と友愛に満ちた学年・学級づくりの推進	①「部活動への入部の促進」と社会性を身に付けさせるための「主体的な部活動」の運営 ②健康教育の推進 ③和みと潤いのある環境づくりのための「緑化活動」や「掲示教育」の推進	①「学力向上策」の推進 ②「分かる授業」「個に応じた指導」の実践

7 教育目標具現化のための重点施策と努力事項

(1) 主に「友愛」にかかわると思われる内容 ～心の教育の充実～

	重点施策	努 力 事 項
友	①「明るいあいさつ」と「さわやかな礼儀」の励行	① 授業の時間や登下校時・休み時間など生徒間のあいさつの励行を勧めます。 ② 来校者にさわやかなあいさつができるように指導します。
	②生徒とのかかわりを深める「ノー会議デー」の有効活用	① 「ノー会議デー」の放課後は、教育相談や学業不振生徒への学習指導部活動指導等に活用します。 ② プログラム委員会の活用を図ります。 ③ 生徒会・各種委員会の生徒の活動の活発化に取り組みます。
愛	③いじめの未然防止と個々の生徒へのかかわりを深める	① 人間としての生き方・在り方を考える、道徳の授業づくりを進めます。 ② いじめに関するアンケート調査をきめ細かく実施します。 ③ 問題行動の早期発見・早期治療に努めます。 ④ JRC・ボランティア・親切運動の展開を推進します。 ⑤ 「チャンス相談 個人カード」による随時相談体制の整備を進めます。

(2) 主に「健康」にかかわると思われる内容

～主体的な活動の推進と心の通い合う場の整備～

	重点施策	努力事項
健	①「部活動の充実」と社会性を身に付けるための「主体的な部活動」の運営	① グループ学習などを活用し、リーダー的資質を身に付けさせるように努めます。 ② 部活動入部を奨励すると共に活動中の事故防止の徹底を図ります。 ③ 長所の発見・発掘・伸長をめざします。 ④ 1年生の「普通救命講習ジュニアコース」を継続して、取り組みます。
	②健康教育の推進	① 全教育活動を通しての保健指導の充実を図ります。 ② 給食指導の工夫・改善を進めます。
康	③和みと潤いのある環境づくりのための「緑化活動」や「掲示教育」の推進	① 環境緑化委員の活動を中心に校地内の緑化活動を進めます。 ② 意図的でタイムリーな生徒作品の掲示を行います。 ③ 広瀬川ふれあい活動やコスモスまつりへの参加を促進します。 ④ 学年掲示コーナーの有効活用と昇降口大掲示板への「四季の風景」の掲出を継続します。

(3) 主に「創造」にかかわると思われる内容

～基礎学力の向上と分かる授業・個に応じた指導の推進～

	重点施策	努力事項
創	①「学力向上策」の推進	① 朝読書により、読む力・読み取る力・考える力・自ら学ぶ力等をはぐくみます。 ② テスト前や長期休業時、「ノー会議デー」での個別の補充学習等を実施すると共に反復により基礎的・基本的事項の徹底した理解と定着を図る指導を進めます。 ③ 標準学力検査結果の把握と分析を生かした指導に取り組みます。 ④ 選択教科等における検定学習の取り組みを進めます。 ⑤ 「家庭学習の手引き」の作成を通して「授業」と「家庭学習」を関連付け「家庭学習」の習慣化を促します。
	②「分かる授業」「個に応じた指導」の実践	① 少人数指導等を取り入れながらきめ細かな指導と授業改善を進めます。 ② 特別支援教育にかかわる校内体制を整備します。 ③ 一人一人の授業公開と校内研究授業を行い研修に努めます。 ⑤ 授業参観や授業研究を通じての近隣小学校との交流を行います。

(4) 主に教職員にかかわる内容 ～人間力の向上を目指して～

	重点施策
①	保護者や地域の方々との連携を図った教育活動の推進に努める。

②	豊かな人間性を備え、生徒・保護者・地域から信頼される教師をめざす。
③	「教科指導力」の向上 をめざす。

努 力 事 項	
①	専門職として幅広い教養と識見を有するために自己研鑽に努める。
②	人間としての生き方・在り方を教えられる教師をめざす。
③	「学年・学級運営力」「校務分掌遂行力」「部活動指導力」の向上をめざす。
④	生徒による自己評価を積極的に活用し、授業改善に生かすように努める。
⑤	使命感に燃え、生徒とともに歩める教師をめざす。
⑥	一人一研究 を目指し、年度末には成果と課題をまとめる。

教育目標実現のために八軒中学校で大切にしたいこと

(1) 大切にしたい「三つの智慧」

三つの智慧とは、「自ら学んで得る智」「人と交わって得る智」「体験を通して得る智」の三つです。

このような智は、深い「気付き」をもたらします。「百聞は一見に如かず」「百見は一体験に如かず」「一見に体験がともなって」こそ、深い感動をもたらし、感性に響くように思います。積極的に他の人とかかわり、かかわりの体験を通して感性を高めていくことは、今日もっとも求められていることでしょう。



(2) 大切にしたい「食」

「食」は「人を良くする」と書きます。食べ物は、たくましく生きるために非常に大切。そして、何が食べられて何が食べられないかは、自分の身体で確かめて経験を積み重ねることで、感覚を養っていくのが本来の姿だと思います。(賞味期限などに頼らずに)

(3) 大切にしたい「じっくり聴くこと」(「耳」は二つ、「口」は一つ)

生徒の話をじっくり聴いてほしい。生徒は聴き取られる喜びがほしいと思っています。(特に八軒の生徒は)めまぐるしく変化する社会にあって、他人の言葉に、そして生徒の言葉にゆっくり耳を傾けるというごくあたりまえのことを、当たり前でできなくなるような状態が広がっているように思います。多くの生徒たちは「聴き取られる喜び」を切に求めています。生徒たちに対して「いい聴きとり手」になりたいものです。

(4) 大切にしたい「あこがれ(目標・夢や希望)」

あこがれ(夢や希望)をもつと、人間は生き生きと生活できます。不登校の生徒たちも、あこがれ(夢や希望)をもてるようになると回復が早いものです。

したがって、カウンセリングは、カウンセラーとの相談という形をとりながら、生徒自身が自分を見つめ、自分を認め、自分なりの判断で生きる希望をもたせることが目的です。親が、最大のカウンセラーですが・・・

※ アインシュタインの親は、磁石の針の動きに夢中になってばかりいるアインシュタインを、「お前は本当はできる子なんだから」と言い続けたといわれる。

(5) 大切にしたい「環境」

「環境は人をつくる」と言われています。教室掲示等を中心に、できるだけいい環境の中で教育活動を行いたいものです。(なぜ東京ディズニーランドはいまだに人をひきつけるのか?)

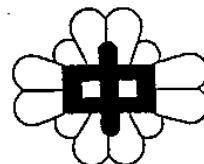
(6) 大切にしたい「教科指導と学級経営」

「最大の生徒指導は授業です。そして、学級づくりです。」授業の中で、できるだけ生徒の考えを聴き、それを生かした授業をすることによって、生徒は教師を信頼するようになります。また、朝や帰りの集いの中で、担任が自分の持ち味を出しながら生徒と触れ合う

ことによって、何でも言える学級となり、その中に生徒の集中力が生まれます。

(7) 大切にしたい教育の流れ(新しい学習指導要領の6つの改善事項 24年度完全実施)

- ① 言語活動の充実
- ② 理数教育の充実
- ③ 伝統文化に関する教育の充実
- ④ 道徳教育の充実
- ⑤ 体験活動の充実
- ⑥ 外国語教育の充実



伝統を大切にしたい

(1) 校章について

四葉は一枚ごとに、愛情、自由、幸福、希望を表し、それぞれの葉が縦、横と結んで八軒の8を表している。また、縦横で十、その間にある芽のようなものを結んで一とし、十一中を同時に意味する。創立以来の理想の表現である。(生徒手帳記載から)

(2) 校訓「美しく」「たくましく」「つつましく」について

「美しく」とは、心身ともに清浄にしてけがれなく、特にけ崇く^{あか}丹き心をいう。丹き心は人に誠実、親に仕えて考、国を愛すること切なり。

「たくましく」とは頑健なからだと不撓の精神をいう。変転極まりない人の世にあって自主、独立、失意のときもひるまず、恐れず勇気をもって正義を行い、逆境を転じて順境となすはこれひとえに不屈の心と丈夫なからだである。

「つつましく」とは己の分をわきまえよく立場を守るをいう。常におごらず、高ぶらずしかも卑屈にならず自信を持ち、学に志しては謙虚に、職に就いては懸命に努力することである。(生徒手帳記載から)

「活発な学校」 「夢や希望のもてる学校」

「皆が入りたくなる学校」 「誇りのもてる学校」

【学校での取組】

- 授業改善（授業研究会や公開授業をとおして、学習意欲を高める）
- 道徳教育の充実
- 緑化活動と掲示教育の充実
- 家庭と連携した基本的生活習慣の確立

【家庭での取組】

- 「早寝・早起き・朝ご飯」「あいさつ」を中心とした基本的生活習慣の確立
- 家庭学習の充実
- モラルの向上（地域行事等への参加）

【学習面でのありたい姿】

- 「活発な授業」
- 「生徒と燃える教師」
- 「学力仙台市NO1」
- 「学力・創造性の向上」
- 「表現力・判断力・回避能力」

【生活面でのありたい姿】

- 「笑顔とコミュニケーション」
- 「思いやり・協力・学び合い」
- 「早寝・早起き・朝ご飯」
- 「健康と優しい心・モラル」
- 「自己肯定感もてるような人間関係」
- 「本当の愛に支えられた生きる力」

「教育という川の流れの、最初の水源の清冽な一滴となり得るのは、家庭教育である。」
（教育改革国民会議第1分科会の報告「日本人へ」 曾野綾子）

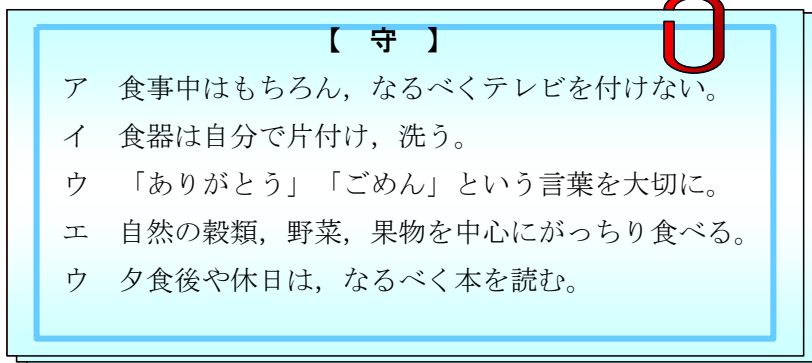
「基本的生活習慣」 「モラル」

「対話力」 「学習意欲」

「基本的な生活習慣の確立」と「モラル向上」のために

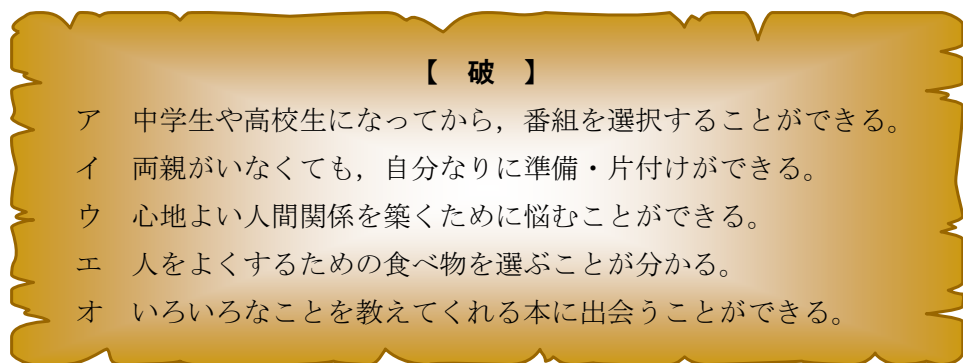
保護者の皆さまの協力を得ながら「基本的な生活習慣の確立」と「モラルの向上」を伝えていきましょう。

(例)



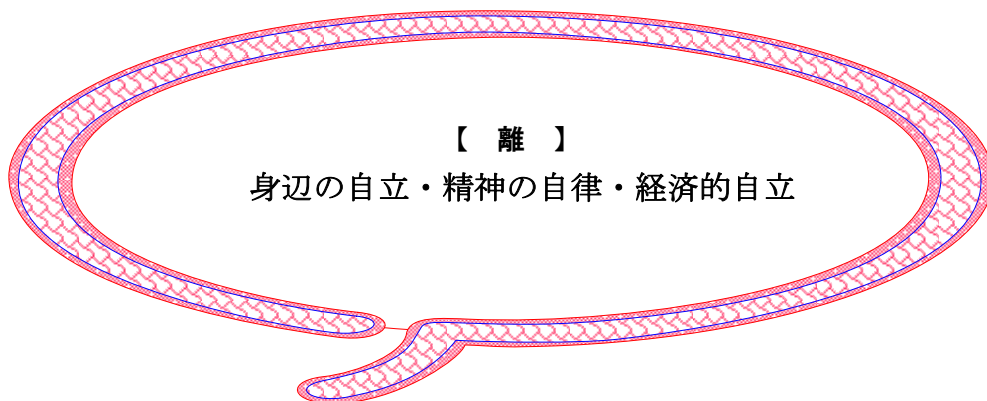
【 守 】

- ア 食事中はもちろん、なるべくテレビを付けない。
- イ 食器は自分で片付け、洗う。
- ウ 「ありがとう」「ごめん」という言葉を大切に。
- エ 自然の穀類、野菜、果物を中心がっちり食べる。
- ウ 夕食後や休日は、なるべく本を読む。



【 破 】

- ア 中学生や高校生になってから、番組を選択することができる。
- イ 両親がいなくても、自分なりに準備・片付けができる。
- ウ 心地よい人間関係を築くために悩むことができる。
- エ 人をよくするための食べ物を選ぶことが分かる。
- オ いろいろなことを教えてくれる本に出会うことができる。



【 離 】
身の自立・精神の自律・経済的自立

23年度 具体的に取り組みたい事項

「基本的な生活習慣の確立」「モラル」「対話力」「学習意欲」

(1) 家庭・地域

- ① 一日5分、家族と学校の話をしてしよう
- ② 一日7時間は寝よう（十分な睡眠）
- ③ 一日1回はお手伝いをしよう
- ④ 「おはよう」「ただいま」「お休みなさい」を言おう
- ⑤ 朝ご飯を食べよう
- ⑥ 一日に（学年＋1時間）の学習時間をもとう

(2) 学校（学びの充実・五ヶ条）

- ① 授業のはじめと終わりはしっかりあいさつをしよう
「お願いします」「ありがとうございました」
- ② 自分の考えを、大きな声で、最後までしっかり発表しよう
- ③ 先生や仲間の話を、相手の顔を見てしっかり聴こう
- ④ 1日1分、静寂の時間をもとう
- ⑤ 1日1つは、授業で分からないところを聞こう

(3) 授業での具体的な取組

- ① ねらいが明確な授業を心掛ける。（ねらいの重点化）
- ② 生徒の気付きや疑問を生かした授業をする。
- ③ 教師が説明する時間を少なくする。（授業における軽重とメリハリ）
- ④ 話し合い活動（対話と学び合い）を入れた授業を心掛ける。
- ⑤ 学習の過程を振り返る時間をつくる。

